



91号 令和6年2月6日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



なぜ、「はいっ」と返事をする？

2月の生活目標は、『「はいっ」と大きな声で返事をする』ですが・・・，

そもそも、返事は、なぜ、「はい」なのでしょう。

「はい」の語源は「拝（はい）」だとも言われています。

「拝（はい）」の訓は「拝（おが）む」。

「おがむ」とき・・・，感謝の気持ちを込めますね。

「〇〇さん！」→「きちんと名前を呼んでくれてありがとう。」そんな感謝を返事に込める。

「・・・ですね！」→「話しかけてくれてありがとう。」

「あなたの話をきちんと聞いていますよ。」

「あなたの話をきちんと受け止めましたよ。」

そんな気持ちを込めることのできる たった2文字の魔法の返事が・・・，「はい」。

それに対して、「うん」は、鼻息（はないき）を表す言葉だそうです。

それでは、返事としては失礼ですね。

ましてや、返事も返さないということになると・・・，

「うんともすんとも言わない」という言葉もあるくらい。

返事を返さないのは、「うん」以下だということでしょうか。

だから、やっぱり、大きな声で「はいっ」が最高の返事。

読書ボランティアの皆さんによる読み聞かせ



長さを体感しながら・・・（算数 2年生）





中学校の音楽の先生による合奏指導（6年生）



学習発表会の児童鑑賞会



2月のブックフェア

